

中小企業

2025
July

7

No.810

令和7年7月1日発行

中央会 令和7年度通常総会

連携による地域課題解決と革新による持続的な成長発展
～活力ある地域経済の実現、持続可能な地域振興の推進～

この人と語る 米子地区生コンクリート協同組合 理事長 庄司 尚史 氏



「通常総会の様子」

Contents

中央会	2
シリーズ	4
この人と語る	7
新理事長紹介	8
県内組合先進事例	9
鳥取県の中小企業景況	10
ちいき組合情報	12
INFORMATION	14
中央会の動き	15
大樹生命からのご案内	16

価格適正化・賃上げ相談窓口を開設中

連携による地域課題解決と
革新による持続的な成長発展



鳥取県中小企業団体中央会

<https://www.chuokai-tottori.or.jp>



HP



FB

令和7年度 中央会総会祝賀会

活力ある地域経済の実現
持続可能な地域振興の推進



鳥取県中小企業団体中央会

連携による地域課題解決と
革新による持続的な成長発展

令和7年度通常総会

「連携による地域課題解決と 革新による持続的な成長発展」

～活力ある地域経済の実現、持続可能な地域振興の推進～

6月18日、鳥取市今町「ホテルニユーオータニ鳥取」において、会員代表者約120名が出席し、令和7年度通常総会を開催、事業報告・収支決算書など4議案を原案どおり承認した。また、総会に先立って、優良組合及び功労のあった役職員に対し会長表彰が行われた。

表彰式では、優良組合並びに組合功労役員、組合功労職員に対し、中央会会長表彰を行った。

引き続き通常総会を開催し、令和6年度事業報告並びに収支決算書承認の件、令和6年度基本財産収支決算書承認の件、令和6年度会館建設に係る基本財産特別会

計事業報告並びに収支決算書承認の件、令和6度共済事業特別会計事業報告並びに収支決算書承認の件の4議案が原案どおり承認された。

また、岩崎会長が挨拶を行い、令和6年度には念願であった新会館が竣工、竣工祝賀会を開催できたことに対し、会員並びに関係先へ感謝の意を伝えた後、「原材料高、原油価格の高騰等が押下げ要因などとなっている中、充分な価格転嫁もできず、また、収益が圧迫されている中での賃上げへの対応や物流の2024年問題等の対応に加えトランプ関税の影響が懸念されるなど、厳しい状況が続いてい



平井知事よりご祝辞

る。中小企業が持続的に成長発展していくためには、互いの経営資源を補完し合い、共同の力で課題解決に取り組む組合の役割こそが重要となる。本会では、組合の設立はもとより既存組合並びに構成員企業の経営改善並びに経営力強化のため、業界のPR映像制作やインターンシップ事業を活用した人材確保や働き方改革の推進、DX時代に向けたデジタル化対応、SDGsやカーボンニュートラルへの対応、国のものづくり補助金や省力化投資補助金、県の産業未

来共創補助金などを活用した生産性向上や新事業展開、さらには事業承継の円滑化支援、組合等の若手リーダーの人材養成や販路開拓支援等、新たな需要の創出や雇用の維持・拡大を図り、本県産業の振興と地域社会の発展に貢献していく。また、脱炭素化への取り組みや、物価高騰や人件費高騰への対応支援を積極的に推進する」と基本的な今年度事業の考えを示した。

引き続き祝賀会を開催し、来賓と代表して平井伸治鳥取県知事、福田俊史鳥取県議会議長よりご挨拶をいただき、馬野慎一郎鳥取県商工会連合会会長の乾杯の後、盛大に祝宴を行った。

(事務局次長 亀井)

会長表彰

(設立年月日、生年月日順、敬称略)

優良組合 (2組合)

亜細亜未来事業協同組合

鳥取ライフビジョン事業協同組合

組合功労役員 (13名)

中村 隆

智頭街道商店街振興組合

濱田 正道

米子管工事業協同組合

森本 省治

鳥取県解体工事業協同組合

米村 年博

鳥取県穀物検査協同組合

荒西 隆光

鳥取県東部トラック事業協同組合

島谷 憲司

境港鮮魚仲買協同組合

北野 勝宏

鳥取県電気工業事業工業組合

木下 貴啓

協同組合鳥取鉄工センター

西山 篤夫

赤帽鳥取県軽自動車運送協同組合

松本 敏秀

協同組合和田浜工業団地

森脇 哲雄

境港水産流通協同組合

木村 憲司

光和商工協同組合

山口 尚文

鳥取県西部トラック事業協同組合

組合功労職員 (7名)

黒住 早苗

エレクトロ・ネットワーク協同組合

中原 久江

鳥取たばこ販売協同組合

山本 章人

菌興椎茸協同組合

生田 智章

鳥取県金属熱処理協業組合

湯谷 真由子

鳥取県東部地区生コンクリート協同組合

武田 夏子

鳥取県電気工業事業工業組合

加治屋 由枝

鳥取県東部建具協同組合



功労役員表彰の様子

2025年版 中小企業白書・小規模企業白書のポイント②

自社の現状を把握し、適切な対策を打つ経営力がポイント

中小企業白書（抜粋）

第2部 新たな時代に挑む 中小企業の経営力と成長戦略

■経営戦略

① 製品・商品・サービスの差別化と外部環境を意識した経営戦略

競合他社に対する差別化として最も重視している要素を見ると、「顧客との密着性・コミュニケーション」を重視しているという回答割合が最も高く、次いで「高い品質」、「希少価値・プレミアム感」と続いている。「特に差別化を意識していない」と回答した事業者も一定数存在していることが分かる。また、業種別に見ると「製造業」や「建設業」では「高い品質」、「卸売業」や「小売業」では「顧客と

の密着性・コミュニケーション」を重視している割合が高く、業種により傾向の違いが見られる。また、「建設業」や「運輸業、郵便業」では「特に差別化を意識していない」の割合が、他の業種と比較して高いことが分かる。

② 外部環境

経営戦略策定や新規事業の検討で最も重視する外部環境を見ると、「競合他社の特徴・動向」を重視しているという回答割合が最も高い。「特に外部環境は重視していない」と回答している事業者も一定数存在していることが分かる。また、業種別に見ると多くの業種で、「競合他社の特徴・動向」を重視していることが分かる。また、「製造業」や「情報通信業」では「ニッチな市場であること」と回答した割合が他の業種と比較して高く、

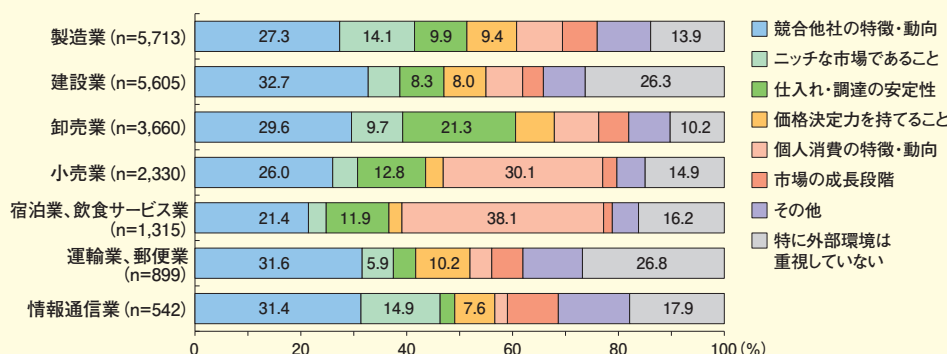
大企業が参入し難い領域に注目して事業展開を行う戦略を採っている可能性がある。また、「建設業」や「運輸業、郵便業」では「特に外部環境は重視していない」と回答した割合が、他の業種と比較して高いことが分かる。（図1）

■経営の透明性・開放性

① 組織運営

「従業員への経営理念・ビジョンの共有」、「従業員への業績・財務内容・議事録など経営情報の共有」、「業務の属人化・ブラックボックス化の防止」への取組状況を見ると、「従業員への経営理念・ビジョンの共有」には約7割が取り組んでおり、他の2項目については、5割6割の事業者が取り組んでいることが分かった。従業員規模別の取組状況を見ると、従業員規模が大きな事業者ほど組織運営の透明化

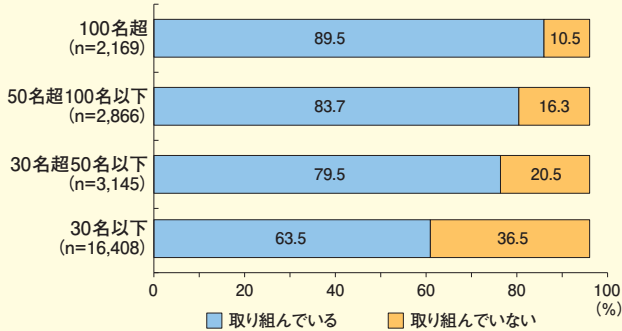
（図1）経営戦略策定や新規事業の検討で最も重視する外部環境（業種別）



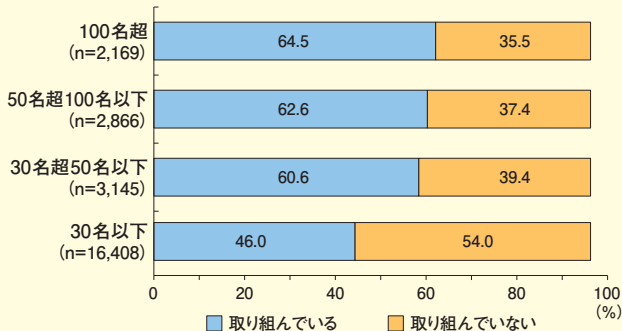
資料：（株）帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」
（注）「その他」は、「参入障壁が高いこと」、「代替品が現れるリスク」、「環境問題対応の影響を受けるか」、「大きい市場であること」、「その他」と回答した事業者の合計。

(図2) 組織運営の透明化への取組状況(従業員規模別)

(1) 従業員への経営理念・ビジョンの共有

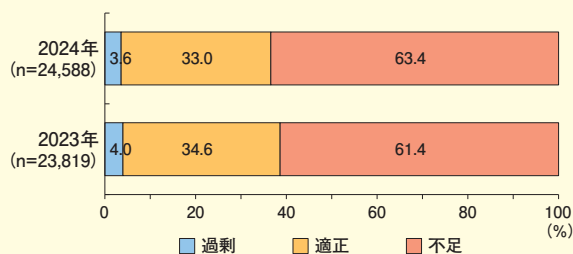


(2) 業務の属人化・ブラックボックス化の防止



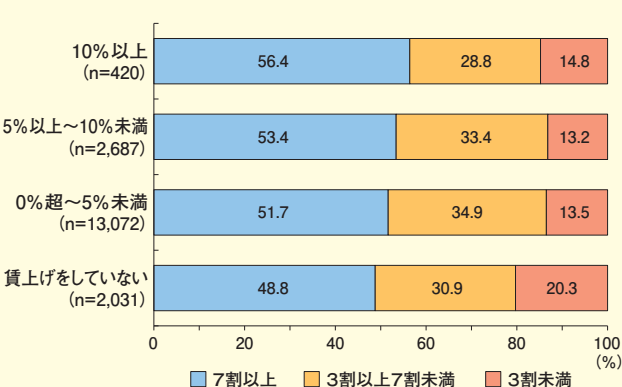
資料：(株) 帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」
 (注) 1. 各取組について、「取組んでいる」は「十分取組んでいる」、「ある程度取組んでいる」と回答した事業者の合計。
 「取組んでいない」は「ほとんど取組んでいない」、「あまり取組んでいない」と回答した事業者の合計。
 2. ここで従業員数は、2024年に常時雇用する正社員、パート・アルバイトの人数について聞いたもの。

(図3) 人材の過不足状況



資料：(株) 帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」
 (注) 人材の過不足状況について、「過剰」は「過剰」、「やや過剰」と回答した事業者の合計。「不足」は「不足」、「やや不足」と回答した事業者の合計。

(図4) 従業員の定着状況(賃上げの実施状況別)



資料：(株) 帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」
 (注) 1. 従業員の定着状況は、直近3年間で従業員を「採用した」と回答した事業者に対し、直近3年間で採用した従業員の定着割合を聞いたもの。ここでの、直近3年間で採用した従業員の定着割合における「3割以上7割未満」は、「3割以上5割未満」、「5割以上7割未満」と回答した事業者の合計。
 2. 賃上げの実施状況は、2024年における正社員一人当たりの賃上げ率について聞いたもの。
 「0%超～5%未満」は「0%超～3%未満」、「3%以上～5%未満」と回答した事業者の合計。「賃上げをしていない」は「据え置き(0%)」、「減少」と回答した事業者の合計。「正社員はいない」と回答した事業者は除く。

■人材戦略

① 人材の不足感

2023年と2024年の人材の過不足状況を見ると、どちらも

に取組んでいることが分かる。従業員数が増えるほど、経営者自らが従業員に経営理念を理解・浸透させることが難しくなることへの対応や脱属人化による効率化、ノウハウの喪失及び業務停滞等のリスク防止のために透明性を高める取組を行っている可能性がある。

「不足」の割合が高く、「2024年」は「2023年」に比べ、「不足」と回答した割合が若干増加している。中小企業の人材の不足感の高止まり局面が継続している様子うかがえる。(図3) また、従業員規模別に見ると、従業員規模が大きな事業者ほど人材不足を感じており、特に従業員数30名超の事業者では、人材の不足感が強くなる傾向にあることが分かる。

2024年において人材が「不足」又は「やや不足」と回答した事業者における不足している職種

■人材確保の取組

① 賃金

賃上げの実施状況別に直近3年間で採用した従業員の定着率を見ても、賃上げ率が高い事業者ほど定着率「7割以上」の

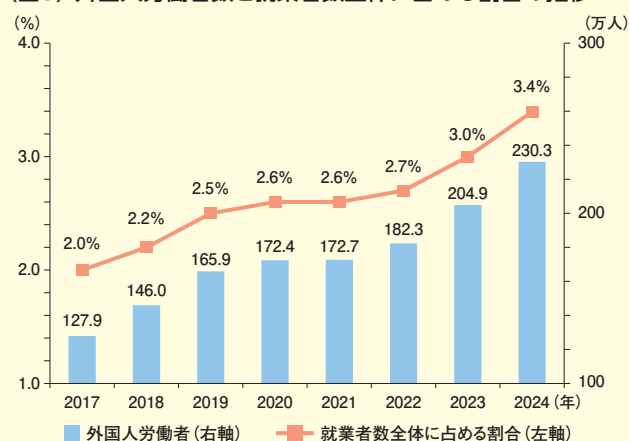
を企業規模別に見ると、「中規模企業」、「小規模事業者」共に、特に製造事業者・販売事業者・サービス職業従業者・運輸従業者・建設作業所といった現場作業に従事している「現業職」が不足していることが分かる。

② 採用

外国人労働者数と就業者数全体に占める割合の推移について見ると、外国人労働者数・割合共に増加傾向にあることが分かる。外国人労働者の活用拡大は人材不足緩和の一助になる可能性がある。(図5)

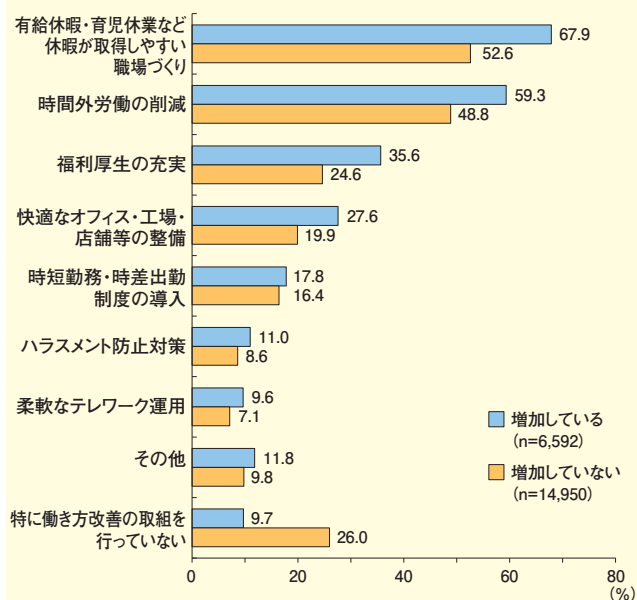
割合が高いことが分かる。また、「賃上げをしていない」事業者では、定着率「3割未満」の割合が高いことが分かり、賃上げが定着率に影響を及ぼしている可能性が高いと考えられる。(図4)

(図5) 外国人労働者数と就業者数全体に占める割合の推移



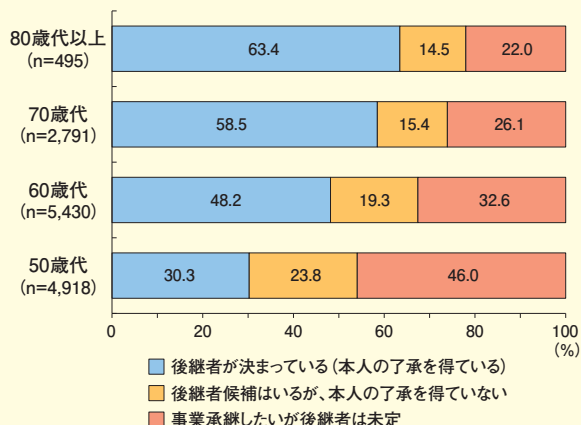
資料：総務省「労働力調査（基本集計）」、厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ
(注) 就業者数は年平均、外国人労働者数は各年10月末時点の数値。

(図6) 人材確保に効果があった働き方改善の取組 (従業員数の増加状況別)



資料：(株) 帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」
(注) 1. 「働き方改善の取組のうち、人材の確保・定着に効果があったと考えられるもの」について3つまで回答したもの。複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。
2. 従業員数の増加状況は、回答時点(2024年)と1年前(2023年)の従業員数を比較したもの。
3. ここでの従業員数は、常時雇用する正社員、パート・アルバイトの人数について聞いたもの。

(図7) 後継者の選定状況 (経営者の年代別)



資料：(株) 帝国データバンク「令和6年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」
(注) 1. 後継者の選定状況について、「事業承継は検討していない」と回答した事業者は除く。
2. 「後継者候補はいるが、本人の了承を得ていない」は、複数の候補者で検討中の場合を含む。

③ 職場環境の改善

また、外国人労働者数の推移を在留資格別に見ると、全ての在留資格(技能実習等)で増加が確認され、特に「専門的・技術的分野の在留資格」の増加が顕著であることが見て取れる。

(図6) は人材確保に効果があつたと考えられる働き方改善の取組を、従業員数の増加状況別に見たものである。これを見ると、「有給休暇・育児休業など休暇が取得しやすい職場づくり」、「時間外労働

■ 事業承継

① 事業承継の状況

50歳以上の経営者について、経営者の年代別に後継者の選定状況について確認すると経営者の年代

の削減」、「福利厚生 of 充実」などが人材確保に寄与する可能性がある。一方、従業員数が「増加していない」事業者では「特に働き方改善の取組を行っていない」の割合が高く、働き方改善の取組を行うことが人材確保に寄与している可能性が示唆される。

が上がるにつれて、後継者が決定している割合が高まっており、事業承継に備えている様子がうかがえる。(図7)

また、売上高規模別に見ると、売上高規模間で後継者の選定状況に大きな違いは見られない。事業承継は一朝一夕にはいかず、特に取引先や従業員等のステークホルダーが多い売上高規模が大きな事業者では、早めに事業承継に備えることが重要だと考えられる。企業類型別に見ると、「同族企業」は、他の類型に比べて「後継者が決ま

っている(本人の了承を得ている)」割合が高いことが分かる。また、「パブリック企業」、「所有と経営の分離企業」では、「後継者候補はいるが、本人の了承を得ていない」、「事業承継したいが後継者は未定」を合わせた割合が高いことが分かった。



「防災・減災・国土強靱化」社会インフラを整備し 「人の命を守る」役割を果たし、街づくりに貢献

米子地区生コンクリート協同組合
理事長 庄司尚史さん

米子地区生コンクリート協同組合は、昭和60年に設立し、今年で創立40周年を迎えられました。この度は庄司理事長に組合を取り巻く環境や今後の取組みなどについて伺いました。

組合創立40周年おめでとうございます。

庄司 ありがとうございます。本年5月22日に当組合創立40周年記念祝賀会を開催したところ、組合員をはじめご来賓、賛助会員等の多くの関係者のご出席を頂きました。私たちが提供する生コンクリートは、社会インフラの基礎資材、縁の下の力持ちとして「人の命を守る」役割を果たしていると共に、街づくりに貢献しています。

創立40周年を振り返って

庄司 当組合は昭和60年4月の設立から40周年の節目を迎えました。鳥取県西部に位置する米子・境港等事業エリアとし、共販中断という「協組崩壊」から短期間で大同団結するという激動期を経て、出荷量が大幅減少している厳しい環境の中で、今日まで安定市場を構築出来ています。ちなみに、昭和63年に年間出荷量は55万㎡位あり、現在の約5倍あったのが最盛期です。組合・工場も最大で14社15工場ありましたが、現在は13社5工場まで集約し再構築を図ってまいりました。

業界を取り巻く環境について

庄司 全国の生コン業界においても、6年連続で過去最低を更新するなど、出荷減少が加速している現状です。加えて、生コンの主要材料であるセメント・骨材・運送費等の価格上昇もあり、生コン業界は一段と厳しい環境にあります。当組合においても同様に厳しい組合運営を余儀なくされています。また、生コン業界全体

が高齢化しており、人材の確保と将来を担う若手の育成を目指しています。

今後の取り組みについて

庄司 生コンクリートは、社会インフラ全ての土台を担う重要な役割を果たしています。今後とも、生コンクリートの安定供給や品質の管理、安全管理の徹底に尽力してまいります。

また、地域貢献活動にも取り組んでいます。登下校する児童を見守る「子ども110番の家」をはじめ、鳥取県の「虐待防止全力宣言企業」やヤングケアラーといった次世代を担う若者を支援する活動に力を入れています。

最後に

庄司 私たちは、今後とも、高品質生コンクリートの安定供給を通じて国土の基盤整備に貢献し、「社会の安全と安心」を守り続けてまいります。「相互扶助の理念」に基づくチームワーク力でお客様のご要望にお応えしてまいります。また、創立50周年に向け、組合と組合員が一致団結して更に品質管理の徹底と技術革新等に努力してまいります。

関係各位のご指導ご協力に感謝し、なお一層のご支援を宜しくお願い致します。

(文責・西尾浩一郎)

米子地区生コンクリート協同組合
住所 米子市旗ヶ崎2丁目2133
電話 0859-133-8969

創立40周年を 盛大に祝う

米子地区生コンクリート協同組合(理事長・庄司尚史氏)は、5月22日、米子市「ANAクラウンプラザホテル米子」において創立40周年記念祝賀会を開催し、来賓、組合員企業等約45名が出席した。

祝賀会では、庄司理事長が組合を代表して挨拶、昭和60年の創立から40年にわたる組合活動を振り返った。続いて伊木米子市長などから祝辞を受けるなど、来賓、組合員企業等で創立40周年の節目を盛大に祝った。

(事務局次長 亀井)



創立40周年記念祝賀会

理事長

大丸 修二 氏



鳥取県管工事業 協同組合連合会

住 所：米子市西福原5丁目9番59号

設 立：昭和58年3月

組 合 員：1人

主な事業：機器材等の斡旋、教育情報提供事業、
福利厚生事業 ほか

米子管工事業協同組合

住 所：米子市西福原5丁目9番59号

設 立：昭和49年12月

組 合 員：18人

主な事業：共同購買事業、教育情報提供事業、
福利厚生事業 ほか

新理事長紹介

令和7年度通常総会で選任された
新理事長を紹介致します。

末広温泉町商店街振興組合

理事長

谷本 暢正 氏



住 所：鳥取市末広温泉町364番地2

設 立：昭和31年4月

組 合 員：49人

主な事業：商店街イベント活動事業、アーケード
保守・管理事業、組合員加入促進事業
ほか

鳥取県保険医協同組合

理事長

家原 猛 氏



住 所：米子市両三柳877-1

設 立：昭和60年2月

組 合 員：456人

主な事業：共同購買事業、各種保険事業、
教育情報提供事業 ほか

鳥取県西部トラック事業 協同組合

理事長

山口 尚文 氏



住 所：米子市流通町1381番地4

設 立：昭和59年12月

組 合 員：19人

主な事業：共同受注配車事業（貨物運送取扱事業）、
高速道路共同清算事業、燃料共同購入
事業 ほか

県内事業者の経営力向上に向けた 価格適正化と賃上げ相談窓口を開設!

物価高騰や人件費高騰などによる厳しい経営環境でも、価格適正化や賃上げを実現するため、価格転嫁や生産性向上、業務改善等の具体的な方法を企業経営の専門家に相談できる窓口を開設しています。お気軽にご相談ください。

相談受付

●受付期間 令和7年3月3日(月)～令和8年2月27日(金)

●受付機関 鳥取県中小企業団体中央会

※本事業は鳥取県からの受託事業として実施します。

●受付先 電 話 0857-26-6671

メー ル honbu@chuokai-tottori.or.jp

※電話による受付は、平日の午前9時～午後5時です。(メー ルは随時)

相談
無料

県内先進組合事例

令和6年度資料収集加工事業調査

毎年度、全国中央会と都道府県中央会が連携し、環境変化に対応した共同事業など先進的に取り組んでいる組合の諸事例を調査・収集しています。

今回は、三朝温泉旅館協同組合を選定し、先進組合事例として取りまとめましたので紹介します。

テーマ
支援機関と連携して組合活動が活性化した事例

三朝温泉旅館協同組合

行政等と連携したインターン制度の取組みで
新時代の地域活性化と人材確保に活路

背景と目的

三朝温泉旅館協同組合は、昭和31年（1956年）に鳥取県三朝町にある旅館等が組織化。高濃度のラドンを含む放射能泉として知られ年間約25万人以上の観光客が訪れる鳥取県内でトップクラスの温泉地だったが、新型コロナウイルスの影響で観光客の減少や宿泊施設の営業休止、従業員減少が相次いだ。最近ではコロナ鎮静化とともに徐々に回復の兆しを見せるなど国内観光客需要やインバウンド客が増加したが、慢性的な人手不足に加えコロナ禍以降の人手不足にも拍車がかかり、顧客の受け入れが出来ないという課題に直面していた。

取組みの手法と内容

人手不足解消のため、組合と観光産業が大きなウエイトを占めていた三朝町とインターンシ

ップを推進している中央会が連携し、各旅館に宿泊しながら集中的に旅館業務や地域の魅力を学ぶパッケージ型仕事研究のインターンシップに取り組んだ。インターンシップの学生は中央会が県内外の大学を訪問して募集し、毎年県内外から3名以上の応募がある。インターンシップでは組合員が花火師の資格を取得し、来訪客のために10年以上実施している花火の取組みや地域おこし協力隊との交流会、地域を散策して魅力発見、観光協会より観光資源の説明、三朝町より観光行政の現状等の説明を行った。また組合員の旅館ではフロント業務・清掃・接客などの業務の体験に顧客サービスやおもてなしの心を学んだ。そして、学生との意見交換会では『おもてなし』手法が体験でき参考になった」と観光旅館への関心が深まり、「いろいろな旅

館を連泊できるプランがあれば面白い」など、学生目線での地域改善や旅館運営、三朝の観光地域資源の素晴らしさや接客姿勢に心が打たれた、という感想があった。地域を理解し地域に生きる企業を体験するという新たなパッケージ型インターンシップは、直接的な雇用促進に留まらず、三朝町や地域おこし協力隊、三朝温泉観光協会などの行政地域全体が連携して地域の良さを理解し、観光地や宿泊施設を体感する新たな取組みとして高い評価を受けている。

成果とその要因

パッケージ型仕事研究のインターンシップの取組みは、3年連続で実施し延べ11名の学生を受け入れているが、観光資源を持つ地域（行政）とそこで経営している観光関連企業が積極的に連携して地域の良さ、企業の経営やあり方を深く理解してもらうことを視点に置き、この活動が将来的な雇用や地域活性化に結びつくという大きな観点で実施しており、参加した学生たちや組合員、行政にも活動の意義が浸透しつつある事業となっている。

三朝温泉旅館協同組合

理事長：岩崎 元哉
住所：鳥取県東伯郡三朝町三朝910-2
設立：昭和31年4月
出資金：3,000千円
主な業種：宿泊業・飲食サービス業
組合員：23人



風情ある街並み



三朝温泉夏花火

価格転嫁による販売単価上昇が 需要減退につながる動きあり

人手不足極めて深刻、 米国関税の影響懸念で先行き見通し難

～景況DI値は、前年同月比2.7ポイント上昇のマイナス10.5～

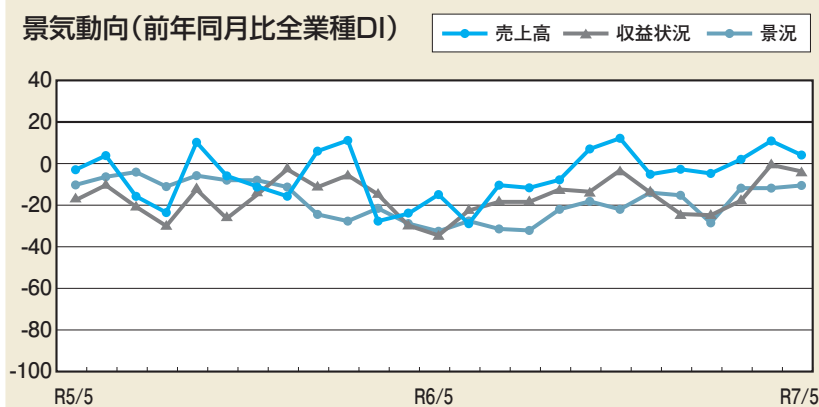
情報連絡員だより

5月

全業種景況DI値は、前月比10.5ポイント上昇のマイナス18.4、前年同月比2.7ポイント上昇のマイナス10.5となった。製造業では、原材料費等経費増の価格転嫁は一部にとどまり、収益が改善しないため賃上げ財源の確保は困難。また、輸出関連の業種を中心に米国関税の影響により取引先の生産体制の見直しに伴う受注量への影響が懸念されるなど不透明な状況にある。非製造業では、インバウンド需要に加え大型連休もあり人流・宿泊は増加したものの、コメ価格高騰など物価高に伴う消費マインドの減退の影響は続き、飲食、小売を中心に厳しい状況が続いている。県内景況は、原材料、商品仕入価格、エネルギー価格、物流費、人件費等の上昇・高止まりに伴う経費増が続き、一部経費の価格転嫁により販売単価は上昇しているが、需要減退に繋がる動きもあり、依然として厳しい。加えて、人手不足は極めて深刻であり、米国関税の影響も懸念されるなど先行き見通しが立たない状況にある。

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

景気動向(前年同月比全業種DI)



製造業

【食料品】

電気、LPガス等光熱費の高止まりに加えて、一時落ち着いていた鶏卵価格が上昇傾向にあり、収益を圧迫している。観光土産品はインバウンド需要により好調。味噌・醤油業界では、ここ数カ月で製品の値上げは進んだが、値上げに伴う需要減により数量が減少し、収益の改善には至っていない。

【繊維・同製品】

国内マーケットは相変わらず冷え込

んでおり、衣料品需要に改善の兆しは見られない。生産拠点は日本に戻ってくる動きもみられる。物価高により種々の経費が上昇しているが、すべて転嫁することができず、収益状況は厳しい。

【家具・装飾品】

需要低迷のなか、物価高に伴う原材料や燃料費の上昇により収益性が低下した。

【木材・木製品】

製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに減少、製材品の生産量は減少、合板の生産量は前月比で微減となった。プレカット加工の稼働率は前月比130%、前年同月比は185%で推移した。

【紙・加工品】

円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。

【印刷】

7月の参議院選挙に関連する案件で一部に活況の動きが見られるものの、総じて例年通り低調な状況となっている。デジタル化の進展などにより大量印刷の将来性が厳しいとの見方が強まっている。

【窯業・土石製品】

総じて、5月の生コン出荷量は、前月比で約5%減少、前年同月比で約11%減少したため、売上は減少、業況は依然として厳しい。若手人材の確保に苦慮しており、今後の事業継続上の課題となっている。

【金属製品】

業種、業態で状況は異なるものの、

総じて自動車関連企業の業況は軒並み厳しい。製造業全体の不安要素が依然として強く、米国税などによる自動車関連部品の低迷に伴う発注数量の減少など、先行き不透明感が強まっている。半導体関係については、AI・データセンター向けの先端半導体が動いているものの、恩恵があるのは一部企業に留まる。

【鉄骨加工】

見積件数、引き合い案件は少なく、手持ち工事量は減少傾向が続いている。現在は2〜3カ月程度は工場加工費・稼働率に大きな変化はない。また、2024年問題の影響で人件費、燃料費、輸送コストの高騰が続いている。

【金属熱処理】

5月の受注状況は前月比、前年同月比でいずれも減少した。自動車、建設機械、農業機械等のものづくり企業も低迷状態が継続しているが、一部の顧客に受注増加の動きが見られる。

【電気機械器具】

米国税による影響は今後の不安要素となっており、業界動向は依然として低迷している。今後についても、年内の回復は困難の見通しとなっている。人手不足が深刻となっており、人材確保のため賃上げは必至であるが、価格転嫁は困難なため利益確保が厳しい状況。

非製造業

【卸売業】

青果関係では、売上高は前月比では単価の変動が少なく取扱数量と同様に

増加したが、前年同月比では単価の低下により減少した。鮮魚関係では、前月比、前年同月比とも取扱数量は増加し、売上高も増加した。事務機器関係では、Windows 10のサポート切れに伴う買換需要によりパソコン関係は好調となっている。総じて、食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっている。水産物関連では、巻き網は月を通じてマイワシの豊漁が続き、後半にローソクサバの混獲が増え始めた。マグロ漁は例年より1週間はやく始まり、脂の乗りは良好。紅ズワイガニは天候にも恵まれ昨年に比べ水揚げ量は2割程度増加、年末需要の思惑買いもあって高値で推移した。

【リサイクル原料】

非鉄金属関連において米国税の影響が見受けられる。古紙の発生は依然として減少となっている。

【小売業・商店街】

鳥取市の商店街では、インバウンドが引き続き好調であるのに加えて、大型連休も天候に恵まれ、観光・宿泊客の来街者は増加した。商品等仕入価格の高騰に伴う販売価格の値上げによって売上増となっているが、消費マインドは低下傾向が続いており、収益の好転までには繋がらない状況にある。鳥取市の水産物小売では、大型連休が飛び石連休となったため、来場者は前年同月比で若干減少となった。倉吉市の

商店街では、県立美術館のグランドオープン以来、倉吉への来訪者は着実に増加しており、近隣の白壁土蔵群への来訪も増加している。しかし商店街への来街者が増加している感はまだ見られない。今後、県立美術館の効果に期待が持たれる。米子市の商店街では、大型連休中は人通りも多く、来客も前年同様の賑わいとなった。インバウンドは増加傾向にある。

【旅館・観光】

鳥取市の鳥取砂丘では、大型連休後半は天気も良く、多くの入出で賑わった。曜日の関係等で前年より入り込み数は減少したが、販売価格を上げた影響により大型連休期間中の売上は前年より微増となった。その後も団体ツアーやインバウンド等の入り込みは好調であった。米子市のホテル・旅館では、売上高は前月比で増加したが、前年同月比では横ばいとなった。皆生温泉エリアでは飲食店が増え、活気が出始めている。依然として人材不足が常態化している。三朝温泉では、大型連休中は特に多くの来客があり、2週目以降も週末は例年に比べ入出が多かった。また平日には団体ツアーが多かった。前年同月比で宿泊料金は上昇しており、売上は増加、収益状況も改善した。羽合温泉では、グランドゴルフ国際大会等によるインバウンド客の増加に加えて、各種イベント集客が宿泊増に繋がったため、前年同月比でも約25%の増加となった。

【自動車整備業】

5月の新車販売は普通車・軽自動車

を合わせて1,302台で前年同月比は4.4%の減少であった。中古車販売は普通車・軽自動車を含めて706台で前年同月比は8.3%の増加であった。継続検査は普通車・軽自動車を含めて14,757台で前年同月比2.3%の減少、大型連休の影響で業務量が減少している。

【建設業】

4月の県内公共工事発注（西日本建設業保証(株)保証取扱は、請負金額137億円（前年同月比0.6%減、件数191件（前年同月比14.0%減）となった。地区別では、前年同月比で中部、日野地区で大幅増加、西部地区は前年並み、東部、八頭地区で減少となった。公共投資は単月で小幅な前年同月比マイナス。設備投資も単月で前年同月比マイナスとなり、3カ月平均もマイナスが続く。住宅投資は単月、3カ月平均ともに前年同月比マイナスとなった。資材価格や労務費の高騰によるコスト増や人手不足から、売上・採算の悪化は継続している。

【運輸業】

5月の物流は、売上は前月比、前年同月比ともに減少しており、人件費及び車両本体価格などの高騰は依然として厳しい。燃料費は補助金の復活もあり大幅に低下したが、依然として高い状況。荷動きについては、4月の引越シーズンもひと段落し、引越関係需要が鈍化、地場生産関係の輸送についても低水準である。ドライバー不足は深刻となっている。

（情報連絡員 38名）

知っておきたいメンタルヘルス対策

鳥取県鉄筋協同組合（理事長・森本 泰司氏）は、本会連携組織付加価値向上事業を活用して、5月23日、鳥取市末広温泉町「白兎会館」において研修会を開催した。

研修会では、「人手不足時代に知っておきたい！メンタルヘルス対策」をテーマに三井住友海上火災保険株式会社・経営リスクアドバイザー・古山直子氏を講師に、労働災害で問われる企業の責任や企業に求められる安全

配慮義務など事例を交えながら説明を受けるとともに、メンタルヘルスの基礎知識、うつ病の診断基準、自分自身で心や身体の管理や手入れ等を行うセルフケアの重要性や就業規則の見直しなどについて示唆を受けた。

参加者からは、「労働災害事例などとても参考になった」「社員等日頃のケアが必要だと感じた」といった声も聞かれた。
（組織支援部 上根）



研修会の様子

外国人の地域への定着と共生に向け「水かけ祭り」を視察



水かけ祭りの参加者

じめ外国人技能実習生、組合事務局が参加して広島市「ひろしまグレートパーク」で開催されたミャンマー・水かけ祭りを視察した。

近年、地方企業の人手不足が深刻化する中、外国人が地域に定着し、共生していくためには、組合がミャンマー母国の文化を取り入れた「水かけ祭り」を開催し、地域の魅力や人と人との繋がりを深めることが大切であるとし、このたびの視察において祭りの規模や受付手順、ブース出店で提供される料理など確認した後、祭りの運営体制や資金調達方法など主催者と

意見交換した。

今回の視察を通じて①祭りの運営体制において組合が実行委員会を立ち上げて提供する料理を調整する。②今後の活動を継続するため明確な資金計画を作成し資金の調達方法を検討する。③食材の衛生管理について保存状態など明確な基準を設け対応策を講ずるなど、組合が今後検討すべき事項が明確となった。

（株）寺谷組の平尾社長は「日本で頑張っているミャンマーの人々が集まり、楽しみながら意見交換している姿を見ると、日本人の我々も協力できることを応援しようという気持ちになった」と感想を述べた。
（組織支援部 北浦）

第10回大山お地蔵さまフェスティバルを開催！

鳥取県西部中小企業青年中央会（会長・永井 拓未氏）は、5月31日、米子市「湊山公園」及び6月1日、大山町「大山寺参道」において、「第10回大山お地蔵さまフェスティバル」を開催した。

このイベントは、大山のお地蔵さまにスポットをあて、子供たちが地域に愛着を持つきっかけにしようと毎年開催しているもので、今年は10周年を記念し、米子の日、大山の日として開催した。

1日目の米子の日・ドリームランタンナイトでは、お地蔵さま作品表彰式が行われるとともに、参加者がヘリウムガスとLEDライトの付いたランタンを、カウントダウンに併せて一斉に夜空に放ち、幻想的で彩り豊かな灯りに多くの来場者から歓声が上がった。

2日目の大山の日・お地蔵さま清掃では、会員や一般参加の親子連れらが参加し、グループに分かれて大山寺参道のお地蔵さまを清掃、たわしやブラシを使って丁寧に磨き上げた。

永井会長は「地域のお子様がたくさん参加してくれました。晴天のもと開催できてよかった。」と話すと、とても有意義なイベントとなった。

（米子支所 西尾）



ランタンナイトの様子

新会長就任の挨拶



鳥取女性中央会
会長 灘本陽子氏

この度、第37回通常総会において、会長に就任いたしました灘本陽子と申します。これまで当会を支えてこられました歴代の会長・会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

今、世の中の動きはとても速く、私たち中小企業にとりましても柔軟な対応と新しい視点が求められる時代になっています。そんな中、鳥取女性中央会の強みは東部・中部・西部の幅広い地域会員で交流を深め活動していけることだと思っています。女性経営者や女性リーダーは家庭・地域・企業のさまざまな場面で日々役割を担いながら、柔軟にしなやかに活躍しています。

女性ならではの視点で感じた気づきを事業に取り入れ、会員の皆さまと共に学び支え合いながら「楽しく」「実りある」活動を続けていく所存です。微力ではございますが尽力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

企業等における公正な 採用選考の実現に向けて (鳥取労働局)

鳥取労働局では、応募者の基本的人権を尊重し、広く応募者に門戸を開くとともに、適正・能力に基づいた採用選考を行う公正な採用選考システムの確立を図られるよう周知・啓発を行っています。

昨今、情報化の進展に伴いインターネット上に差別的な書き込みが行われるなどの状況変化が生じていることを踏まえ、国として部落差別を解消するための教育・啓発等の取組みを進めているところです。

公正な採用選考システムの確立に向けては、企業に対する周知・啓発に取り組んでいます。一方で、採用担当者のみならず企業トップクラスにおいても、面接や応募用紙等で「家族」や「個人のプライバシー・身体等」に関することを把握するなど、就職差別につながるおそれのある不適切な事象も依然として発生している現状にあります。

公正採用選考の趣旨を改めてご理解いただき、「公正採用選考人権啓発推進員」の適正な配置、推進員や企業トップクラスに対して鳥取労働局及び鳥取県が行う研修会への積極的な参加、適正な応募用紙の使用等公正な採用選考が実現されるよう、ご協力をお願い申し上げます。

カーライフプラン プライム (WEB完結)



最高1,000万円まで 最長15年
他社自動車ローンのお借換えもOKです。

フリーダイヤル
0120-267-104
受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日・振替休日・年末年始は除きます)

WEBで完結！
お申込みはこちらから



職域サポート契約 締結先の従業員の皆さまへ



職域サポート契約をご契約いただいた
事業所にお勤めの皆さまに、
金利優遇商品をご提供いたします。



- 特典① 職域サポート定期積金 金利上乘せ
- 特典② 職域サポート専用の各種ローン
(教育・マイカー・リフォーム・フリー・サポート「絆」)

くわしくは、最寄りの店舗または、ホームページ、
フリーダイヤルにお気軽にお問い合わせください。

ふれあい大好き
鳥取信用金庫
<https://www.shinkin.co.jp/torishin/>

令和7年度 雇用保険料率のご案内

- ◆ 令和7年4月1日から令和8年3月31日までの雇用保険料率は以下のとおりです
- 失業等給付等の保険料率は、労働者負担・事業主負担ともに5.5/1,000に変更になります。
(農林水産・清酒製造の事業及び建設の事業は6.5/1,000に変更になります。)
 - 雇用保険二事業の保険料率(事業主のみ負担)は、引き続き3.5/1,000です
(建設の事業は4.5/1,000です。)

<令和7年度の雇用保険料率> ※赤字は変更部分

負担者 事業の種類	① 労働者負担 (失業等給付・育児休業 給付の保険料率のみ)	② 事業主負担	失業等給付・ 育児休業給付の 保険料率	雇用保険二事業 の保険料率	① + ② 雇用保険料率
一般の事業	5.5/1,000	9/1,000	5.5/1,000	3.5/1,000	14.5/1,000
(令和6年度)	6/1,000	9.5/1,000	6/1,000	3.5/1,000	15.5/1,000
農林水産・※ 清酒製造の事業	6.5/1,000	10/1,000	6.5/1,000	3.5/1,000	16.5/1,000
(令和6年度)	7/1,000	10.5/1,000	7/1,000	3.5/1,000	17.5/1,000
建設の事業	6.5/1,000	11/1,000	6.5/1,000	4.5/1,000	17.5/1,000
(令和6年度)	7/1,000	11.5/1,000	7/1,000	4.5/1,000	18.5/1,000

(枠内の下段は令和5年4月～令和7年3月の雇用保険料率)

※ 園芸サービス、牛馬の育成、酪農、養鶏、養豚、内水面養殖および特定の船員を雇用する事業については一般の事業の率が適用されます。

厚生労働省鳥取労働局委託事業 「高齢者活躍人材確保育成事業」

シルバー人材センター 仕事募集中

臨時的、短期的、軽易な仕事を請負（派遣）います。

シルバーは、知識
経験、技能の宝庫です。



お問い合わせ、お仕事のご依頼は、地元のシルバー人材センターへ！

(公社) 鳥取市
0857-22-0050

(公社) 智頭町
0858-75-0170

(公社) 倉吉市
0858-22-0870

(公社) 湯梨浜町
0858-35-4130

江府町
0859-75-2942

(公社) 岩美町
0857-72-2511

(一社) 八頭町
0858-72-3351

(公社) 琴浦町
0858-52-1001

(公社) 北栄町
0858-36-6220

三朝町
0858-43-1883

日南町
0859-82-0223

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会
〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
URL <https://www.torisilver-ren.com>
TEL0859372531 FAX 0859-37-2537



(公社) 境港市
0859-47-4540

(公社) 大山町
0859-53-4787

(公社) 米子広域
(米子市、日吉津村)
0859-32-2633

(公社) 南部広域
(南部町、伯耆町)
0859-66-4011

新規高等学校卒業生の 県内就業に向けた 取り組みにご協力を！

5月27日、鳥取県、鳥取労働局、鳥取県教育委員会は共同で、新規高等学校卒業生の県内就業に向けた取り組みの要請を、本会を含む経済4団体に対して行われました。若年労働力の減少が進む中、一人でも多くの若者を地元の事業所で正社員として雇用し、将来の本県産業を担う人材として育成・定着させていくことは、鳥取県の未来をひらく上で必要不可欠です。

会員の皆様におかれましても、教育訓練の機会の提供による人材育成、働きやすい職場環境の整備、生産性向上と賃金引上げ、適正な人事評価等による処遇の向上など、魅力ある雇用の場の創出に向け御尽力いただくとともに、若者の県内就職の促進に向けて、長期的な採用計画の策定、求人票の早期提出及び校正採用の実施についてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



要請活動の様子

中央会・組合の7月行事予定

日	曜日	行事内容・時間・場所
8	火	鳥取県中小企業団体中央会と大樹生命保険株式会社山陰支社との連携協定締結式 10:00 中央会 中国ブロック指導員研究会(商業) 14:00 岡山芸術創造劇場ハレノワ(9日まで)
9	水	販路開拓支援事業・展示会出展支援 10:00 (対象:鳥取県金属熱処理(協業)) 幕張メッセ(11日まで)
14	月	中国ブロック指導員研究会(労働) 14:00 KDDI維新ホール(15日まで)
15	火	西部青年中央会 総会・卒会式・懇親会 17:30 ANAクラウンプラザホテル米子
18	金	中国ブロック青年中央会通常総会・研究会 14:30 サンラボーむらくも
22	火	中部青年中央会通常総会 19:00 倉吉シティホテル
24	木	東部青年中央会通常総会・懇親会 18:40 ホテルニューオータニ鳥取
28	月	県中小企業青年中央会通常総会・50周年記念式典・祝賀会 17:00 ANAクラウンプラザホテル

※組合等の行事を情報交換の場として組合活性化情報「中小企業ととろり」に掲載しておりますので、組合での行事等がございましたら本会までご連絡下さい。
※6月20日時点で把握している情報を掲載しています。

編集後記

梅雨の時期になり雨の日が多くなると思っていました。意外と晴れの日が多く、時には真夏のような天気もありました。最近春や秋が短くなり、「四季」ではなく「三季」になってきたなと感じます。気候の変化に戸惑うことも多いですが、なんとか今年の夏も乗り切りましょう。そんな6月は私の誕生日でした。昔は楽しみだった誕生日も、最近は「また歳をとったか」と少し複雑な気持ちになります。年齢だけ増えていくのは悔しいので、せめて中身も少しずつ成長していけるように日々努力していきたいです。(ナゴシ)

第77回 中小企業団体全国大会

広島大会

進化を続ける「国際平和文化都市」
広島から新しい未来像を。

令和7年(2025年)

11月12日 水 開催

13:00~17:30 (予定)

① 全国大会 / 13:00~15:30

② 交流会 / 16:00~17:30

【開催場所】① 広島県立総合体育館
(広島グリーンアリーナ)

(広島県広島市中区基町4-1)

② リーガロイヤルホテル広島

(広島県広島市中区基町6-78)

【参加費】1人あたり 6,600円

【主催】全国中小企業団体中央会
広島県中小企業団体中央会

写真提供:一般社団法人広島県観光連盟

黒滝山からの眺望(竹原市)

7月の倉吉出張所相談日のお知らせ

1日(火) 8日(火) 15日(火)
22日(火) 29日(火)



大樹のように とことん安心

大樹のように もっとよりそう

大樹のように ずっとずっと見守るよ

大きな安心 お届けします

大樹生命保険株式会社 <https://www.taiju-life.co.jp/>

山陰支社 〒680-0845 鳥取市富安1-18 NTT コミュニケーションズ鳥取南ビル4F TEL:0857-22-5753
鳥取営業部 〒680-0845 鳥取市富安1-18 NTT コミュニケーションズ鳥取南ビル3F TEL:0857-26-2513
倉吉営業部 〒682-0021 倉吉市上井359-9 松井ビル1F TEL:0858-38-2205
米子営業部 〒683-0802 米子市東福原1-1-22 米子ウエストビル1F TEL:0859-34-2518

中小企業とつとめ 令和7年7月1日

発行人

鳥取県中小企業団体中央会

〒680-0845 鳥取市富安1丁目96

TEL(0857)26-6671(代)・FAX(0857)27-1922

倉吉出張所

〒682-0887 倉吉市明治町(倉吉商工会議所内)

TEL・FAX(0858)22-1706

米子支所

〒683-0823 米子市加茂町(米子商工会議所5階)

TEL(0859)34-2105・FAX(0859)34-6441

URL <https://www.chuokai-tottori.or.jp>

E-mail honbu@chuokai-tottori.or.jp

毎月1回1日発行 中央印刷株式会社 印行
購読料 1部 70円 TEL(0857)53-2221
(会員の購読料は会費に含まれています)